

## 豪雨と防災について

金屋中・1 鈴木 湊人

六月二日に西日本から東日本の広い範囲で台風二号による非常に激しい雨が降りました。

豊川市でも大雨による河川の氾濫、車両の冠水、住宅の浸水被害、土砂崩れ、道路陥没、倒木、法面崩壊、橋の通行止めなどの膨大な被害が発生しました。豊川市での被害情報では人的被害はなしで、住宅被害のうち全壊が二棟、床上浸水が二百六十二棟、床下浸水が二百六十棟です。河川の越水は佐奈川を含む十四か所になっていきます。道路被害は裏面崩壊が六十二か所、道路陥没が十五か所、土砂の流出六十八か所、通行止め三十三か所です。林道被害が二十一か所、農産被害が十三億千五百円、農林水産業施設被害が二億万円となっていました。学校被害は二か所も発生しました。佐奈川は、いつ氾濫してもおかしくない危険な状態の氾濫危険水位(二メートル八センチ)を超えました。次の日、佐奈川を見ると今まで見たことがないほど茶色くにごった色をしていました。水位も高く下の歩道がわたれなくなっていて驚きました。木も所々折れていて、折れた木が川にも流れていました。豊川市では、次々と発生する積乱雲が列をなし、同じ場所を通過・停滞することで、線状に伸びた地域に大雨を降らせる線状降水帯が二度発生したため、このような大きな被害が起きたということです。

周囲の道路が水につかった総合青山病院では、六月二日の夜、大雨で車が立ち往生してずぶ濡れになったドライバー二十人余りを受け入れ、衣類やカップ麺、飲み物などを無償で提供し、休めるようにと空いている病室を急きょ開設しました。今春オープンしたイオンモール豊川の周辺では冠水被害が大きく、店舗から出られない来

店客が続出しました。イオンモール側は開放して、営業時間が過ぎた後の二日深夜も照明の点灯を続けて、十台以上の車が一夜を過ごしました。

このような大変な状況でも自分たちのことだけを考えるのではなく、困っている人のことを一番に考えて行動できることがすばらしいと思いました。

このできごとから自分にも何かできることがあるのではないかと考えるようになりました。そんなとき三河防災クラブの防災講座があることを知りました。東三河防災クラブは防災をもっと身近に感じてもらえるように活動をしている団体です。防災講座の内容は三つでした。

一つ目は、大きなゴミ袋でポンチョを作るということです。ゴミ袋を少し切るだけで簡易的なポンチョになります。雨具がないときや避難所での生活や暖房器具などが使用できず寒いときに上着の内側に着ることで防寒対策になります。

二つ目は自宅快適避難最新防災グッズが十二個あるということです。予想していたものは、水、非常食、ガスコンロ、ラップ、携帯トイレ、ライト、ポリ袋でしたが、意外と知らなかったものは新聞紙、クーラーボックス、ウエットティッシュ二種(口腔用、体用)があると便利だと知りました。まだ自宅でも準備ができていない物もあるのでそろえていきたいと思えました。これらは阪神淡路大震災での経験を生かして選んだ十二個だそうです。実際に被災した人たちの意見はとても大切だと思いました。

三つ目は毛布担架というものを教わりました。この毛布担架は毛布の左右のはしをくると丸め、棒状にすることでケガをした人を運ぶとき、重さが軽くなって少ない人数で運べるということです。他にもふすまやたたみも担架として使えますが、はずすのが大変なので、毛布が一番担架として一番軽くいいそうです。実際に大人だけのチームと子供だけのチームでも毛布担架に人間と一緒に重さ

の人形を乗せて運ぶタイムを計りました。すると少しだけ子供のチームが速いという結果でした。子供たちだけでも簡単に運べるということが分かったので、これはみんなが知っておくとよいと思いました。運ぶときの方法は必ず運んでいる人の足を前にして進みます。なぜかという段階から下がるときに、頭が前だと下に下がってしまいとでも危険だからということ。便利な方法でも注意点をしっかりと守って使わなければいけないと感じました。

防災講座の中で一番印象に残った言葉は、防災は楽しんで学んでいいんだということです。防災の知識を頑張つて勉強するというよりも、ゲーム感覚で楽しんで学ぶ方が小さな子供もより覚えやすく、いざというときに思い出しやすいかもしれません。災害は起こつてほしくないけれど、準備ができることは前もって行い、災害への意識を高めないといけないということがこの講座で分かりました。

豊川市は、一時全人口にあたる十八万九千二十一人に六月二日緊急安全確保が発令されました。桜町付近では複数台の車が水に浸かりました。避難所となった近くの桜町地区市民館と桜町小学校体育館には地元住民の人たちに加えて市外の人などの百人近くが避難していました。自然災害をすぐ身近に感じる出来事でした。これからもっと防災の知識を増やしていきたいと思いました。災害は突然起こります。日頃から準備や心構えなどがとても大切だと感じました。日頃から自分にもできることは天気予報を確認したり気象情報に気をつけたりすることだと思います。今回のように梅雨や台風の起こりやすい時期は特に気をつけていきたいです。そして避難所や避難経路を事前にしっかり確認しておくことも必要だと思いました。自分の避難場所はどこなのか、どうすればそこまで安全に行けるのかということも確認しておきたいと思いました。今回の豪雨でたくさん車の車に浸かって動けなくなっているのをニュースで見ても、車の移動はすぐ危険だとわかったので、気をつけたいと思いました。今回のこのことで防災について考えるきっかけになりました。普段